

「グッドライフアワード」とは



「グッドライフアワード」は、環境に優しい社会の実現を目指し、日本各地で実践されている「環境と社会にいい暮らし」に関わる活動や取組を募集して紹介、表彰し、活動や社会を活性化するための情報交換などを支援していくプロジェクトです。4回目の開催となる「グッドライフアワード」では、今年も、生活者や各種団体、企業などが行っている「環境と社会にいい暮らし」を実現するための取組を募集します。みなさんの取組についての情報を発信することで、日本で暮らすひとりひとりがライフスタイルを見直すきっかけになることを目指しています。

応募要項



【応募方法】

「グッドライフアワード」公式サイト専用フォームからご応募ください。

公式サイトURL http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/

【応募期間】

2016年6月1日(水)～2016年9月30日(金)

【応募資格】

「環境と社会にいい暮らし」を実現するための活動に取り組む、日本国内の各種団体、企業、個人。

あなたが注目する活動の情報提供もお待ちしております。(情報提供先メールアドレス info@goodlifeaward.jp)

【最終審査方法】

応募いただいた取組の中から、実行委員会にて環境大臣賞候補を決定。

公式ウェブサイト上の投票ページにて公開し、国民投票を実施。

その結果等を踏まえ、最優秀賞等を決定します。

【審査などのスケジュール】

実行委員会にて環境大臣賞候補を選定／2016年10月下旬

ウェブサイト上で国民投票実施／2016年11月

シンポジウム&表彰式開催／2016年12月上旬

【表彰】

●環境大臣賞 最優秀賞(1組)

記念品、賞状贈呈／特集ページを作成して紹介／公式プロモーションビデオの制作

●環境大臣賞 優秀賞(3組程度)

記念品、賞状贈呈／特集ページを作成して紹介／公式プロモーションビデオの制作

●環境大臣賞 グッドライフ特別賞(6組程度)

賞状贈呈／特集ページを作成して紹介／公式プロモーションビデオの制作



シンポジウム&表彰式

毎年、受賞取組の代表者を招き、東京にて『シンポジウム&表彰式』を開催。表彰式と併せ、環境と社会にいい暮らし(=「エコでソーシャルな取組」)をテーマとしたシンポジウム(入場無料)を実施しており、多彩なゲストを迎え、有意義な議論が交わされます。ぜひご参加ください。

第1回表彰式



第2回表彰式



第3回表彰式



グッドライフアワード

検索

応募は
WEBから!

www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/

主催:環境省

お問い合わせ:グッドライフアワード事務局 TEL:03-6804-3858 Email:info@goodlifeaward.jp

めざせ!「環境大臣賞」

環境と社会に 「いいこと」 募集中!

NPOや自治体、企業はもちろん、
個人の応募も大歓迎!

GOOD
LIFE AWARD
第4回 グッドライフアワード

みんなの力で社会は変わる!

グッドライフアワード

検索

応募は
WEBから!



第3回 最優秀賞
サンゴ再生プロジェクト

第2回 最優秀賞
天然山菜採り代行サービス

第1回 最優秀賞
三陸の海を取り戻せ!



地域に根ざした活動やイベント、 ユニークなエコ施設やビジネスモデルなど、 多彩な取組が受賞しています。

『グッドライフアワード』は、環境と社会により取組を応援するプロジェクトです。応募いただいた取組は公式サイトなどでご紹介(原則)して、国民投票などで選考の上、優れた活動に「環境大臣賞」などを贈り表彰します。今まで受賞した取組は、受賞をきっかけにメディアに取り上げられるなど、活動の幅をさらに広げています。あなたの、そしてあなたの仲間との取組を、社会に向けて発信してください!

WEBで
レポート
公開中!



第1回グッドライフアワード 最優秀賞

三陸の海を取り戻せ! (三陸沿岸部復興・保全活動)

東日本大震災の津波で三陸地方の漁港の海中には多くのがれきが沈んでいました。この取組では全国から集まるダイバーの手で海中がれきの撤去を実施。地元の漁業関係者との絆を深め、漁業サポートにも取り組んでいます。
【NPO法人三陸ボランティアダイバーズ】



第2回グッドライフアワード 最優秀賞

天然山菜採り代行サービス ～山のめぐみを、おすそ分け!～

拠点は十和田湖に面した秋田県小坂町。受注したフキノトウやタラノメ、ワラビなどの山菜を「山の名人=地元の高齢者のみなさん」が採取して届けてくれるネットショップです。
【あきた森の宅配便】



受賞を秋田県知事にご報告。メディアで紹介されました!

第3回グッドライフアワード 最優秀賞

サンゴ再生プロジェクト 「チーム美らサンゴ」

沖縄県恩納村の漁協などと連携して、地球温暖化による海水温上昇でダメージを受けたサンゴの再生に取り組んでいます。サンゴの苗づくりや植え付け活動、普及啓発イベントを実施しています。
【チーム美らサンゴ】



第1回グッドライフアワード 優秀賞



やまぐち食べきちよる運動 ～おいしく、ぜんぶ、たべちゃろう～

平成22年度、山口県内で発生した食品ロスは約6.1万トンもありました。食品ロスを削減するために官民の枠を超えて協議会を設立。さまざまな取組を実施しています。【山口県食品ロス削減推進協議会】



「世界の宝石-瀬戸内海」を磨く ～ごみのないきれいな海を 未来の子供に手渡す取組の実践～

美しい瀬戸内海にも都市からのごみが沈んでいます。小豆島の漁協との協力で海底ゴミの回収を見学。港でゴミの分別調査をしたり、ワークショップを開いています。【NPO法人グリーンパートナーあかやま】



田舎でシュウカツ ～自然エネルギーで生活する 楠クリーン村へようこそ～

若者たちが自分の手で開拓した畑でお茶やブルーベリー、野菜などを栽培。住む家もセルフビルドで建て、太陽光発電などでエネルギーを自給しつつ共同生活を営んでいます。【NPO法人学生耕作隊】

第2回グッドライフアワード 優秀賞



森と命を繋ぐ歩道橋 「アニマルパスウェイ」の開発と普及

特別天然記念物のヤマメや、ニホンリスなどが暮らす森を分断する道路に、小動物のための歩道橋である「アニマルパスウェイ」を普及させていこうとする取組です。【アニマルパスウェイ研究会】



クロマツお助け隊! 東北に白砂青松をもう一度 「海岸林再生プロジェクト10か年計画」

東日本大震災の津波で大きな被害を受けたクロマツの海岸林。宮城県名取市で、100haの広大な予定地に50万本のクロマツ林を再生する取組です。【公益財団法人オイスカ】



「希望の綿」 ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

津波や原発事故で大きな被害を受けた福島県いわき市や広野町。耕作が中断した畑を借りてオーガニックコットンを栽培。コットンペーパーなどのアイテムを商品化しています。【NPO法人ザ・ビーブル】

第3回グッドライフアワード 優秀賞



共存の森プロジェクト ～農山漁村に憧れる 高校生・大学生集まれ!!～

『聞き書き甲子園』に参加して農山漁村地域の「名人」から話を聞いた高校生や大学生が、地域の方々と協働し、それぞれの地域の課題解決のために活動しています。【認定NPO法人 共存の森ネットワーク】



かがわの里海づくり ～自然共生型の新しい社会と ライフスタイルを目指して～

県が提唱し、行政だけではなく、企業や住民などが一体となり、内陸部の市町村も参画した全県域での取組の仕組みを構築。美しい「里海づくり」のためのさまざまな取組を行っています。【香川県】



智頭町森のようちえん

自然の森をフィールドとする「ようちえん」。子どもの自主性を尊重して、母親と保育士さんが協力する共同保育で子どもたちの成長を見守っています。【特定非営利法人 智頭町森のようちえんまるたんぼう】